

## 令和3年度実践研修タイムスケジュール（案）

（R3.03.01版）

< 講義 >

番号	実施方法	時間	形式	科目	目的	内容	備考
0	動画配信	5		事務連絡			
1	動画配信	60	講義	障害者福祉政策（児童福祉政策）の最新の動向	・障害者福祉政策及び児童福祉政策の最新の動向について理解することにより、利用者の置かれている制度的環境変化を認識する		
2	動画配信	40	講義	サービス提供職員及び支援提供職員（以下「サービス提供職員等」という。）への助言指導について	・サービス提供職員等への支援内容、権利擁護・法令遵守等や助言・指導を適切に実施するための方法等について、講義により理解する	1.サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の業務管理 2.サービス提供職員に対するマネジメント 3.サービスの提供プロセスに応じた助言指導 4.会議の活用 5.助言指導の方法 6.連携の意味やチームづくり	演習部分50分 演習2
3	動画配信	50	講義	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者（以下「サービス管理責任者等」という。）の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議等のポイントの整理）	・多職種連携や地域連携の実践的事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割（相談支援専門員や関係機関との連携方法）について理解する	1.サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が管理する支援プロセス 2.サービス担当者会議とは 3.サービス担当者会議の実際 4.サービス担当者会議に参加するサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が準備（整理）しておくこと 5.まとめ	
4	動画配信	50	講義	（自立支援）協議会を活用した地域課題の解決に向けた取組	・（自立支援）協議会の意義、目的、活動内容等について理解する。 ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が事業所で起きている課題に気づき、地域の課題ととらえ、協議会を有効活用する視点を講義を通じて理解する	1.目指すことは地域共生社会 2.地域生活支援拠点等について 3.協議会と事業所の関係 4.個別支援から協議会へ 5.〇〇区の事業所で課題になっている事例 6.〇〇区の協議会のプロセス 7.地域課題を解決するための〇〇区地域生活支援拠点等の実践例 8.サビ児管が地域を知ることの大切さ 9.まとめ	※5-9の項目については、スライドを作成。その他のスライドも検討

〈演習1日目〉

番号	時間	形式	科目	目的	内容	ツール	備考
	9:45-9:50	5	開講挨拶・事務連絡				教室進行紹介
演習1	9:50-10:10	20	演習 オリエンテーション	実践研修や流れを確認するとともに、東京都が目指すリーダーの姿について理解する	<b>1.サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割（3分）</b> (1) サービス提供にかかるプロセス管理 (2) 人材育成 (3) ネットワークづくり（連携） <b>2.実践研修の位置づけ（3分）</b> (1) 基礎研修の振り返り (2) 東京都が目指すリーダーの姿 (3) 実践研修の位置づけ <b>3.実践研修の構成（4分）</b> (1) 講義部分（研修1日目）の振り返り (2) 講義と演習のつながり (3) 演習の獲得目標 <b>4.演習オリエンテーション（10分）</b> (1) ファシリテーター紹介 (2) グループ内での自己紹介 ①自己紹介シートを記入する（2分） ②グループ内で自己紹介をする（5分） (3) グランドルールを確認する	・自己紹介シート	教室進行よりファシリテーター紹介
演習2	10:10-11:00	50	演習 サービス提供職員等への助言指導について	講義をふまえて、受講者が事業における助言・指導の考え方について振り返るとともに今後の取り組み方について討議する	<b>1.事業所での取り組みを振り返る(15分)</b> ①自己振り返りシートに記入する ②自事業所での取り組みをホワイトボードに書き出し、グループで共有する <b>2.仕組みを考える(25分)</b> ・1をふまえて、どのような仕組みが必要かを考える ・個人ワークシートに記入する <b>3.全体で共有する(5分)</b> <b>4.ファシリテーターの講評(5分)</b>	・児童発達支援管理責任者の業務整理表 ・スライド「サービス内容のチェック」 ・個人ワークシート「自己振り返りシート」	
11:00-11:10		10	休憩				
演習3	11:10-11:55	45	講義 演習 実地教育としての事例検討会の進め方	・事例検討会の目的、方法、効果等について理解する ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として事例検討会の実施が、チームアプローチ強化や人材育成に効果があることを学ぶ ・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として事例検討会の進め方を習得する ・事例研究やスーパービジョンに関する必要性を理解し、自己研鑽の動機づけとする ・日ごろの日常業務に位置づけ、定期的な開催を行える環境づくりを理解する	<b>1.これまでの内容を振り返る（5分）</b> <b>2.事例検討会の効果（5分）</b> <b>3.事例共有と事例検討の違い（9分）</b> (1) 事例共有（ケースレビュー） (2) 事例検討 <b>4.事例検討のあるべき姿、活かし方（6分）</b> (1) 基礎技術の重要性 (2) 話を聴く時の技法 (3) 事例検討会のポイント <b>5.事例検討会の準備（20分）</b> ・事例を読み、個人ワークシートにまとめる	・個人ワークシート「実地教育としての事例検討会の進め方」	
11:55-12:55		60	昼休憩				

	12:55-14:10	75	講義 演習	実地教育としての事例検討会の 進め方		<b>6.事例検討会（70分）</b> ・事例検討のプロセス ・具体的なポイント ①出席者自己紹介、役割確認 ②事例の紹介 ③人物像の環境を共有する質問 ④人物や環境などのストレスを共有する ⑤今後の方向性の確認をする ⑥参加者の感想 ⑦グループファシリテーターのコメントを聞く <b>7.まとめ（5分）</b>			
	14:10-14:20	10	休憩						
演習 4	14:20-14:40	20	講義			<b>1.モニタリングとは（10分）</b> (1) サービス提供のプロセスの確認 (2) サービス等利用計画と個別支援計画との関係の確認 (3) 個別支援計画作成とモニタリング (4) モニタリングとは <b>2.アセスメントとは（10分）</b>			
	14:40-15:40	60	演習	モニタリングの方法		<b>3.モニタリング演習（140分）</b> (1) 事例の確認 (2) 人生の時期・利用者の置かれている日常の確認 ①「リカバリーの過程」の説明を聞く ②現在の一朗さんの時期とその理由を個人ワークシートに記入する ③グループ内で共有し、グループの意見をまとめる (3) 情報整理（現在状況のアセスメント） ①個人ワークシートに記入する ②グループで共有し、グループで一つのシートを完成させる	・個別支援会議別紙 C ・個人ワークシート「一朗さんのリカバリーの過程」 ・個人ワークシート「アセスメント」 ・グループ用シート「アセスメント」	※時間配分	
	15:40-15:50	10	休憩						・モニタリングの方法(演習) 100分
	15:50-17:10	80	演習	モニタリングの方法	・事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画との連動性を念頭に置きながら、モニタリングの視点・目的・手法等について、講義により理解する ・事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する	(4) 再アセスメントの具体的方法の検討 ①個人ワークシートに記入する ②グループ内で共有し、まとめる (5) サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての今後の方針 ①個人ワークシートに記入する ②グループ内で共有し、まとめる (6) モニタリング追加情報を含めてのアセスメントの修正 ①モニタリング追加情報の確認 ②モニタリング追加情報を含めて、アセスメントシートの修正を行う ③グループで共有し、まとめる	・個人ワークシート「再アセスメントの具体的方法」 ・個人ワークシート「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての今後の方針」 ・モニタリング追加情報	・個別支援会議の運営方法 40分	
	17:10-17:15	5	事務連絡						

〈演習2日目〉

項目	時間	形式	科目	目的	内容	ツール	備考	
	9:45-9:50	5		事務連絡				
演習 5	9:50-10:10	20	個別支援会議の運営方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について、講義により理解する</li> <li>・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実体験実習を通じてサービス管理責任者等としての説明能力を獲得する</li> <li>・模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者等の役割について、グループワーク等によりまとめる</li> </ul>	<b>1.事前の事例検討会議を実施する前に（5分）</b> <b>2.職員教育・人材育成・実務指導（15分）</b> ・職員体制によるチェック機能について ①個人ワークシートに記入する ②グループで共有する	・個人ワークシート※検討中		
	10:10-11:40	90 (休憩10含)			演習	<b>3.事前の事例検討会議(模擬演習)（90分）</b> (1) 演習の概要説明 (2) 模擬事例検討会議 ①役割分担・指示書配布・説明 ②ロールプレイ ③個別支援計画の修正 ④全体で共有する ※②③で各グループごとに休憩	・情報提供シート	休憩10分
	11:40-12:40	60	昼休憩					
	12:40-13:10	30	講義演習			<b>4.個別支援会議(模擬演習)を実施する前に（7分）</b> ・個別支援会議とは ・合意的形成過程を知る <b>5.個別支援会議の留意点の共有（23分）</b> ①個人ワークシートに記入する ②グループで会議の進め方のポイントを共有する	・個人ワークシート※検討中	
	13:10-14:30	80 (休憩10含)	講義演習		個別支援会議の運営方法	<b>6.個別支援会議(模擬演習)（75分）</b> (1) 演習の概要説明 (2) 模擬個別支援会議 ①役割分担確認 ②ロールプレイ ③会議の振り返り ④まとめ発表 ※演習のどこかで休憩 <b>7.個別支援会議の全体まとめ（5分）</b>	・情報提供シート	休憩10分
	14:30-15:00	30	※模擬演習・ファシリテーターコメントなど時間調整分					
15:00-15:10	10	休憩						

演習 6	15:10-17:10	120 (休憩10含)	演習	サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援専門員との情報共有、関係機関との連携を主体的に取り組むことの重要性を再確認する</li> <li>・自立支援協議会などの関係機関との連携から地域課題への取り組み方について討議する</li> <li>・事業所内で解決できない利用者のニーズや課題を解決するためのプロセスを共有する</li> </ul>	<p><b>1.関係機関や相談支援専門員との連携の重要性 (40分)</b></p> <p>①個人ワークシートに記入する</p> <p>②グループ内で共有し、連携するためのコツや必要性を確認する</p> <p><b>2.自立支援協議会・地域生活支援拠点等を知る (30分)</b></p> <p>・グループ内で発表し、共有する</p> <p><b>3.地域課題の取り組み方についてヒントを得る (30分)</b></p> <p>①事業所の支援から見える地域課題について、グループ内で共有する</p> <p>②自立支援協議会の活用と地域課題への取り組みについて考え、グループで共有する</p> <p><b>4.全体で共有する(10分)</b></p> <p>・グループ討議の中で参考になったことなどを発表する</p> <p>・ファシリテーターのコメントを聞く</p> <p>※演習のどこかで休憩</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ワークシート「関係機関・相談支援専門員との連携の振り返り」</li> <li>・事前課題「我が街の自立支援協議会・地域生活支援拠点等について」</li> </ul>	休憩10分
演習 7	17:10-17:20	10	講義	研修のまとめ	<p>研修を振り返り、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の支援・人材育成などの視点を確認する</p>	<p><b>1.研修の振り返り (7分)</b></p> <p>・研修の振り返り</p> <p>・ファシリテーターの総評</p> <p><b>2.東京都が目指すサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者について (3分)</b></p>		
	17:20-17:25	5		事務連絡				